

1. 題材設定の理由

4年生から5年生に進級したこの時期児童たちは、高学年になったという気持ちはあるものの、何がどう変わり、何をすべきかということが漠然としかわからないことが多い。

そこで高学年になった自分の抱負を明確にさせ、交流する中で自覚を高めたい。

また、高学年は、主に児童会活動を中心として学級の係活動以外に委員会活動など学校全体にかかわる活動が増える。これらの活動の意義と重要性を理解し、意欲をもって活動に参加することが大切になってくる。

2. 指導のねらい

高学年としてよりよい学校生活を送るためには、どんな生活や活動をすればよいか考え、自分の願いを具体化し、意欲を高めることができる。

3. 指導計画（全1時間）

本時	<ul style="list-style-type: none"> 高学年としてどんな生活を送りたいか具体的な願いを出す。 高学年として学校みんなのためにどんな活動をしたか具体的な願いを出す。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自分の願いが守られているか、振り返る。 学校みんなのためにがんばって活動している子を認め合う。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> 高学年としての意識を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今まで見てきた高学年のお兄さんお姉さんの学校での様子を交流し合う。 (うれしかったこと、すごいと思ったこと。) ・保健委員会のお兄さんにけがの手当をしてもらったことがある。 ・通学班長のお姉さんに毎朝学校に連れてきてもらった。 ・縦割り班で遊びを教えてもらったことがある。 ◎作文を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学校生活を振り返らせ、いろいろな角度から高学年の姿を考えさせる。 	ノート①
課題：高学年としてどんな生活や活動をすればよいか考えよう。				
中心の活動	<ul style="list-style-type: none"> 高学年としてどんな生活を送りたいか考え、自覚を高めることができる。 高学年として具体的な学校での役割をイメージすることができる。 高学年として学校のためにどんな活動をしたか具体的にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎高学年としてどんな生活を送りたいか書く。 ・宿題を忘れずにきちんとやりたい。 ・自主学習を進んでやりたい。 ・掃除をきちんとやりたい。 ◎学級（班）で交流する。聞き手は、メモをしながら聞き友だちの良い意見、まねしてみたいところを見つける。 ◎高学年として学校全体にかかわる（役に立てる）活動としてどんな活動があるか考え、交流する。 ・委員会活動 ・縦割り班活動 ・通学班のリーダー ・運動会の係 等 ◎上で出た意見を参考にして、どんな役割でどんな活動をしたか具体的に書く。 ・体育委員会：楽しい全校遊びを考えたい。 ・縦割り班のリーダー：1年生の子も楽しめる遊びを考えたい。 ・通学班のリーダー：右側通行、一旦停止を守り安全に学校まで通学したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面、学習面など様々な場での願いを書かせる。 ・一人が発表した後、聞き手に感想を言わせてもよい。 ・活動を通して願いを具体化する。 ・具体的な活動が思いつかない児童については、高学年の人がどんなことをしていたか、高学年の人にどんなことをしてもらったか振り返らせる。又は、教師が資料を用意する。 	ノート② ノート② ノート③ ノート③
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意欲を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎上で書いたことを交流し合い、お互いの良いところを認め合う。 		